



大阪市立大学 北摂支部同窓会報

4年ぶりに総会・懇親会を開催



令和5年11月12日(日)午前11時より千里阪急ホテルにおいて、来賓に辰巳砂昌弘大阪公立大学学長ほか3名の方々をお迎えし、会員40名が出席して令和5年度の総会・懇親会を開催した。

鈴木淳幹事(法昭53卒)の司会進行により開会。池上隆彦支部長(医昭40卒)から、新型コロナの5類移行により、今回辰巳砂学長ほかご来賓の出席を賜り4年ぶりに開催できたとの開会挨拶があった。来賓紹介のあと来賓を代表して津戸正弘有恒会副理事長から挨拶があり、大学統合により同窓会も対応すべく、まず全学同窓会統合のため昨年6月に「大阪公立大学校友会」を設立した(大阪市立大学同窓会は令和7年3月に消滅)。

既に4支部が校友会支部に名称変更しているが支部名称は各支部の歴史と意向を尊重し、市大同窓会を継続するものよしの説明があり、また大阪公立大卒業生は支部名称に拘わらず受け入れて頂くよう依頼があった。



(池上支部長のあいさつ)

Contents

・4年ぶりに総会・懇親会を開催	1	・学長講演 大阪公立大学の今後の展望等	4
・新支部長あいさつ	3	・活動報告・編集後記	7

議事として、事務局の中尾浩己副支部長(商昭42卒)からコロナ禍の3年間は総会・見学会等活動は中止し、会員からのメッセージやエッセイ等を基に毎年同窓会報を発行し会員間のコミュニケーションを図ると共に、エリアを吹田市にも拡げ改めて会員募集を行い新たに64名の入会を得て会員は300名となった事などの活動報告があった。次年度の活動方針としては、支部活動の充実に加えて公立大学校友会の発足を踏まえ、当支部の在り方や校友会支部設置について検討を進めることが了承された。役員改選では、支部長に阪口善雄氏(文昭46卒)、事務局・副支部長に渡辺博己氏(法昭46卒)他を選出し、新支部長から就任の挨拶があり、最後に田路博士幹事(商平7卒)から会計報告を行って総会を終えた。

続いての講演は、辰巳砂学長から「大阪公立大学の今後の展望等」と題して、1. 新大学の1年半の歩み 2. 研究・教育・社会貢献活動、学生の活躍や公立大学のピックス 3. キャンパス整備と新大学の方向性 について詳しく説明頂いた。



(辰巳砂学長の講演)

なお、辰巳砂学長は箕面市出身で池田高校、阪大工学部・大学院の応用化学科、府大工学部教授学長を経て大阪公立大学学長に、研究分野は無機材料化学、固体イオニクス、ガラス科学で、次世代電池として実用化の近い全固体電池の研究プロジェクトで活躍され、今回紫綬褒章を受章された。

講演内容は前記1. では産・学・官との多くの連携協定締結や海外の大学との交流状況、2. では医学・工学分野での先端技術の研究開発、学生の文化・スポーツ分野での活躍状況、3. では既存キャンパスの役割整備と新棟計画及び新たに大学本部・教養部となる森之宮キャンパスの建設状況、新大学の方向性としては世代を問わず多様な人材の集まる大学＝大阪の「知の拠点」・高度研究型大学を目指すとの説明があった。市大OBにとっても大阪公立大学の発展に大きな期待が持てる内容であった。

(講演のあと全員で記念撮影。)



(大阪公立大交響楽団カルテットの演奏)

懇親会は、司会進行に山本聡美幹事(生昭60卒)が加わり、まず初めに物故会員に黙禱。大阪公立大交響楽団カルテットのモーツァルト「ディブルティメントk138」の演奏を聴き、上村修三市大同窓会事務局長による乾杯の発声で開宴。歓談の中、辰巳砂学長の紫綬褒章受章へ支部からの心ばかりのお祝いを阪口新支部長からお渡した。

また、来賓の金村福寿市大同窓会大阪南支部長から大阪南支部の記念誌と大学への記念植樹の紹介、統合による支部の発展、有恒会の永続、公立大学の発展を願うお話があり、上村氏からは同窓会活動報告として、皆さんの



(金村福寿大阪南支部長のあいさつ)

ご協力により五代友厚の名誉が回復し教科書の記述が変更されたこと及び開高健展、開高健関西悠々会について報告があった。

食事、歓談の中、市大同窓会から「新五代友厚伝」3冊、「五代友厚銅像記念誌」5冊、「五代友厚シンポジウム報告集」5冊を希望者にプレゼントされた。次に初参加会員11名が紹介され、出席者の矢野郁也氏(医昭34卒)から「永年ワクチン研究に携わり来年90歳になる。結核菌に近い抗酸菌は温度が上がれば毒性が出るなど気候の温熱化から新たな感染症が増加する。これへの治療法は進んでい

特集

北摂支部総会・講演

大阪公立大学の今後の展望等

大阪公立大学学長 辰巳砂昌弘



大阪公立大学1.5年間の歩み

新大学開学

まずスタートとして、1.5年前の2022年4月11日、大阪城ホールにて、文部科学大臣、大阪府知事、大阪市長ら来賓および学生・大学院生3,077人が出席して、開学記念式典と入学式を盛大に行っております。

戦没学友の碑 献花の集い

本年4月に、大阪公立大学と大阪公立大学校友会の共催で開催され、4年ぶりに戦没学友のご遺族関係者の方にもご参列いただきました。雨の中の集いでしたが、本学執行部と大阪公立大学校友会等の同窓会関係者や、教職員の代表、学生代表など約50名が参加し、先の太平洋戦争において犠牲となった教職員・学友に想いを馳せつつ、恒久平和を祈念して献花を行いました。

関連して大阪市立大学が2021年のNHK連続テレビ小説『カムカムエヴリバディ』の制作に協力しました。『カムカムエヴリバディ』の第一部ヒロインである岡山の和菓子屋の娘・案子(上白石萌音さん)と結婚する、稔(松村北斗さん)が通う大学は、大阪市立大学の前身である、大阪商科大学がモデルです。稔は残念ながら学徒出陣で戦死してしまいます。劇中で使用されている制服や制帽、教科書などの資料も大阪商科大学の当時の制服を参考に制作されています。

また、NHKとの繋がりでは、昨年10月から放送された『舞いあがれ!』ですが、中百舌鳥キャンパスが撮影地として協力しました。パイロットを目指すヒロインが人力飛行機サークルで大空を飛ぶことを経験するシーンでは、本学の学生クラブ「WindMill Club」と堺市の有志の方による「大阪公立大学 堺・風車の会」が、作品中に登場する人力飛行機の貸し出しや演技指導などの協力を行いました。

旧大学の行事、サークルの統合

基本的には良いものは残していきたいと思います。それぞれ方法が違いますが、まずは両方を試してみるところから始めて良いところを残していこうとしています。

色んなサークル活動、クラブ活動がありますが、旧大学のサークルの統合は大変ではありましたが、OBの皆さんにご尽力いただきまして、非常にうまく新しい活動をスタートしております。

第71回 東京都立大学・大阪公立大学総合競技大会を都立大南大沢キャンパスで、2019年以来4年ぶりとなる有観客で開催し、応援団や本学学生、卒業生の応援の下、大いに盛り上がりを見せた大会となりました。結果は本学の11勝8敗で昨年に続き総合優勝を勝ち取る結果となりました。普通は、こういうスポーツ競技の交流戦では、アウェーでの勝利はほぼ不可能と言われていますが、サークル活動やクラブ活動においては2つの旧大学が1つになることで強くなりました。

大阪公立大学のTOPIX

研究・教育

研究の方では挙げだしたらきりがありませんが、情報学研究科の黄瀬浩一教授が代表を務める「医療×AIの重層型研究開発拠点形成」プロジェクトで、活動の一環として、2023年3月に学生10名が、本学と連携協定を締結しているドイツ最大の人工知能に関する研究所である人工知能研究センター(DFKI)を訪問し、医学部の教員と学生が設定した研究課題に共同で取り組むとともに、DFKIの教授や研究員と意見交換を行いました。本学を特色づける先進的な研究や学術の発展に大きく寄与することが見込まれる研究を「戦略的研究」と位置づけ、支援しています。本プロジェクトは2022年度に重点研究支援(拠点形成支援型)に採択されました。

ないので若い人の活躍に期待したい」とのメッセージ、寺田佳子氏(院創造都市平21卒)からは仕事の状況、村上幸隆氏(法昭53卒)(市大交響楽団OB)から公立大学交響楽団演奏会の紹介、辻信義氏(文昭46卒)(市大交響楽団OB会長)から学生歌の誕生秘話について、それぞれ興味深いお話を頂いた。モーツァルト「アイネクライネナハトムジーク」の演奏を楽しみ、各テーブル歓談で盛り上がる中で予定の時間となり、最後に全員で桜花爛漫、学生歌を斉唱し、阪口新支部長から閉会の挨拶があった。司会の鈴木氏から来年の総会(当千里阪急ホテルで開催)にも元気で参加頂くよう再会を期して、午後2時半過ぎに閉会となった。



(恒例の「逍遙歌桜花爛漫」の合唱)

杉谷公伸(経昭44卒)

《総会・懇親会出席者》

(敬称略)

来賓

大阪公立大学 学長 辰巳砂昌弘
 渉外企画課長 北橋 和也
 有恒会副理事長 津戸 正広
 大阪市立大学同窓会
 大阪南支部支部長 金村 福寿
 大阪南支部 上村 修三

大阪公立大学交響楽団
 カルテットメンバー
 和田 祥歩(現在システム科学域3回生)
 山岸はる香(法3回生)
 橋本 大河(理4回生)
 掃部 想太(法4回生)

会 員

矢野 郁也(医昭34) 入間 淑子(医昭42)
 小倉 正直(法昭35) 鈴木 章彦(商昭43)
 桑原 利行(工昭36) 杉谷 公伸(経昭44)
 松本 進(文昭37) 杉山 徳雄(経昭44)
 中尾 佳生(理昭37) 梅原 健一(経昭45)
 浦濱 壮祐(商昭39) 末村 亘(商昭46)
 松本 義宏(商昭39) 橋本 剛(経昭46)
 長尾 隆史(工昭39) 渡辺 博己(法昭46)
 宮本 武(医昭39) 阪口 善雄(文昭46)
 荒木 董(文昭40) 辻 信義(文昭46)
 池上 隆彦(医昭40) 小林 由幸(法昭49)
 中尾 浩己(商昭42) 橋本 純(経昭50)
 渡辺 憲一(商昭42) 清藤 秀人(経昭52)
 上田 幸子(文昭42) 鈴木 淳(法昭53)

村上 幸隆(法昭53)
 竹谷 正美(経昭54)
 本多 匠(工昭54)
 大前 秀治(工昭56)
 今元 明彦(経昭60)
 相間左基子(法昭60)
 山本 聡美(生昭60)
 安原 良典(医平01)
 高山 和則(経平05)
 田路 博士(商平07)
 間宮 亮(経平09)
 寺田 佳子(創造都市平21)



新支部長あいさつ

去る11月12日の本支部総会におきまして、長年お勤めいただき、ご功績のあります池上支部長のあと、新支部長に就任させていただきました。

我々が大阪市立大学も、昨年2022年4月1日、大阪府立大学と合併いたしました。大阪公立大学として新たなスタートを切りました。現在の両大学の学舎は残りまして、更に 森の宮の旧地下鉄車庫跡に、統合の象徴的なメインキャンパスが来年4月にオープンする予定で、そこには文学部や生活科学部が移ることとなっています。

来年3月には新大学二期卒業生が誕生いたしますが、まるまるの新大学の卒業生は2027年3月期に誕生であります。私達とは大学に寄せる思いが相当に違ったものになりそうです。大学同窓会のあり方も変わってくるはずであります。全学同窓会の名称も、既に大阪公立大学同窓会に変わっております。私達地域の同窓会は感覚が本部といささか違っておりまして、対応は少し難しいように思っております。今後とも皆様と十分協議しながら、同窓会北摂支部のあり方をこれからの最大の課題としなければならないと存じます。

今後とも会員の皆様方のご支援、ご理解を賜りますようお願いいたします。ご挨拶とさせていただきます。本当によろしくお願ひ申し上げます。

阪口善雄

それから、本学の全固体電池研究所が、全国初の全固体電池に関する学術研究を中心においた「共同利用・共同研究拠点」として、文部科学省から認定を受けたというのが、今年の話でございます。全固体電池に関する材料開発、材料解析評価、および材料プロセス研究において、本学は、世界的に高く評価されており、特に、全固体電池材料の合成や評価解析に必要な不可欠な大気非曝露に対応した研究設備を整備してきた点が評価されて認定に至りました。

また、協創研究センターLAC-SYS研究所の研究チームが、光の力でがん細胞由来ナノ粒子の効率的な検出に成功したり、医学研究科の研究グループで、AIのディープラーニングを用いて、一般的な胸部レントゲン画像から心機能の評価や心臓弁膜症の分類を高精度で推定するモデルの開発に成功したり、工学研究科が国際シンポジウム2023を開催し、革新的な研究成果を発信する場として本学の学生・教員だけでなく、世界各国から幅広くご参加いただき、非常に有意義なシンポジウムとなりました。

学生の活躍

学生の方もがんばってまして、アカデミック英語ディベート全国大会で、本学学生が団体が3位、個人賞では1位になりました。また、硬式野球部も、昨年10月に、近畿学生野球連盟1部秋季リーグ戦の優勝を掴み取りました。そして、近畿学生野球連盟1部春季リーグ戦にて優勝し、第72回全日本大学野球選手権大会へ出場し、結果は初戦で環太平洋大に6-1で惜しくも敗れましたが、市大・府大時代を通じて初の全国大会出場に、大学関係者や東京支部同窓会の卒業生が試合に応援へ駆け付ける等、熱い盛り上がりを見せました。まだまだ伸びしろがあり、統合効果の1つが出ているものと思っております。

キャンパス整備と大学のこれから

キャンパス整備については、阿倍野キャンパスの看護学新棟、杉本キャンパスの理学新棟、中百舌鳥キャンパスの工学新棟が進んでおります。

メインキャンパスである「森之宮キャンパス」は2025年秋に開設します。ここで、すべての1年生を受け入れ、全学部・学域の基幹教育、以前の教養教育を実施します。このほか、国際基幹教育機構、文学部、文学研究科、医学部リハビリテーション学科、リハビリテーション学研究科、生活科学部食栄養学科、生活科学研究科食栄養学コースが移転します。

これで、全体としては5000人以上が森ノ宮に集まることとなります。

2027年度には、1.5期の整備としていますが、民間活力を利用したキャンパス整備を実施し、情報学研究科が森之宮キャンパスに移転します。民間のオフィスビルに大学が床(8,000㎡)を取得し、情報学研究科と産学官共創リビングラボの整備を予定しております。

このようにして、学内すべてのキャンパスに「産学官共創リビングラボ」機能を位置づけ、大阪公立大学として「全学ネットワーク型イノベーションエコシステム」を構築し、「もりのみや」に本部機能(2025年～)、「なかもず」にハブ機能を持たせ、「すぎもと」、「あべの」、「りんくう」、「うめだ」の各キャンパスをネットワークで結び、基礎研究を含めた各キャンパスの強み、文理融合による「総合知」を活かしたハード・ソフトの取組みから持続的なイノベーションにつなげるようになります。

おわりに

最後に、「OMU基金」についてです。

大阪公立大学では、2022年4月の大学誕生に伴って『大阪公立大学・高専基金』をスタートさせ、前身校である、大阪市立大学の夢基金(直接寄附)、大阪府立大学のつばさ基金(ふるさと納税を利用した寄附)の長所を融合させ、より大学の活動に共感し、ご支援いただきやすい基金として、「OMU基金」が発足しています。

この特徴として、大学への直接寄附に加え、大阪府ふるさと納税制度の活用が可能であり、寄附への謝意としての基金顕彰を制定(ご寄附者銘板、ご芳名掲載など)しており、研究をはじめ、学生課外活動・クラブへも直接的にご支援が可能です。

旧市大の学生の皆様は卒業していきませんが、それがそのまま公立大学に引き継がれておりますので、引き続き皆様方の温かいご支援ご協力をお願いしたいと思います。

誠にありがとうございました。

《事務局から》

本文は、2023年11月12日(日)大阪市立大学同窓会北摂支部総会で行われた辰巳砂学長の講演のうち、皆様方の関心の高いと思われる話題を中心に事務局の責任でまとめたものです。

活動報告

◆令和5年度諸行事

*「四天王寺を訪ねる」

令和5年5月20日(土) 10名参加

*北摂支部カラオケ同好会

令和5年3月20日(月)

令和5年5月15日(月)

令和5年7月17日(月) 延べ20名参加

*諸会議

令和5年1月25日(水) 役員会

令和5年3月4日(土) 有恒会全国支部代表者会議

令和5年5月27日(土) 有恒会定期総会

令和5年6月28日(水) 役員会

*会員の状況

令和5年9月30日現在300名

*役員移動(新任)

支部長 阪口 善雄(文昭46)

副支部長 渡辺 博己(法昭46)

(事務局)

顧問 池上 隆彦(医昭40)

顧問 中尾 浩己(商昭42)

*役員移動(退任)

支部長 池上 隆彦

副支部長 中尾 浩己

副支部長 寺井 久子(生科昭31)

幹事 松本 光正(工昭和47)

幹事 古川由理子(文平2)

令和4年9月30日

大阪市立大学同窓会北摂支部 令和5年度収支報告書 (自2022年10月1日～至2023年9月30日)

(単位：円)

【収入の部】

前期繰越金	174,648
年会費(108名)	108,000
寄付金(67名)	178,000

合計 460,648

【支出の部】

会報誌印刷費	139,700
総会案内状印刷費	31,900
事務費	120,309

内訳

はがき/郵送料等	90,270
振込手数料	17,950
その他	12,089

次期繰越金 168,739

合計 460,648

*物故者

謹んでご冥福をお祈りいたします(敬称略)

仁士 賢一(医昭33) 令和4年12月7日

繁田三恵子(文昭38) 令和5年6月8日

発行人

発行：大阪市立大学同窓会北摂支部
支部長 阪口 善雄(文昭46)

編集：事務局

〒666-0122 川西市東多田2丁目29-6

渡辺 博己(法昭46)

電話/FAX：(072)790-2717

Email:hiromi.watanabe@nifty.com

編集後記

4年ぶりの総会・懇親会を開催することができました。

本号では、その模様と大阪公立大学辰巳砂学長の講演を収録いたしました。今回のご出席を見送られた方々に、雰囲気だけでもお伝えできればと思います。

この度の総会の役員改選に伴い、事務局も変更いたしました。前任の中尾浩己氏の長年のご苦勞を感謝申し上げます。(W)